



# 大阪市会議員 森山よしひさ

編集・発行 大阪市会議員 森山禎久事務所

〒556-0015 大阪市浪速区敷津西 2-1-12 YKビルディング 1階A号室

☎ 06-6630-8800 F A X 06-6630-9260



facebook

日々の活動を配信中!



## 心 通う市政で笑顔溢れる大阪に



市政改革特別委員会の質疑に立つ  
森山議員

大阪市会議員の森山よしひさです。

新年度も始まり区内小中学校の入学式に出席させて頂きました。統合された学校やクラスが増えた学校などそれぞれですが、どこの学校でも入学生を拝見しますと、昔は「ピカピカの1年生」という流行り文句がありましたが、きらきらとした容姿に大変微笑ましく思えました。私たち大人が子どもたちをしっかりと守り、浪速区そして大阪で活躍できる人材へと育てなくてはなりません。そして、浪速区では人口急増に伴い、子どもの数も増えて大変喜ばしい事だと思います。

現在、私は教育子ども委員会の副委員長をさせて頂いておりますので、今回のNEWSでは浪速区の子どもの関連の情報をボリュームアップしてお伝えします。

## 「住民目線」で、地に足のついた市政 を！！

### 「大阪都構想」は住民投票で決着済み！

～勝つまでジャンケンをやっている時間はありません～

#### 制度論よりも政策実現を！

「大阪都構想」は、平成27年5月17日に行なわれた住民投票で決着済みです。有権者たる市民が直接選挙で示した判断は、何よりも重たいものです。「ラストチャンス」「究極の民主主義」を謳っていたのは誰でしょうか？大阪の景気はこの数年で悪化の一途。

制度論で無駄な時間を費やす余裕は、今の大阪市にはありません。

#### 政令指定都市の強化を！

これからの地方自治は、徹底した地方分権を進めていくことが重要です。すでに府県の権限の市町村への移譲はどんどん進められています。大阪市は「政令指定都市」として、一体的、総合的、そして一元的に行政運営が行なわれています。これから必要な大都市制度の改革は、府県のみならず国から政令指定都市への権限と財源のさらなる移譲がベストです。地道ではありますが、着実に成果を上げてまいります。

### 住民の思いが届く「区」の改革を。

～「総合区」で、さらなる「市政改革」を推進！～

#### 総合区は24行政区のバージョンアップ！

「総合区」の導入は、大都市制度の問題ではなく、「市政改革」「行政改革」の一環です。市の窓口である区役所の機能を強化し、ワンストップサービスの実現など、住民サービスの向上をめざすものです。大阪市には「待機児童」「子どもの貧困」「全国一の生活保護受給者」「高齢者一人世帯」など福祉的な行政課題が多く、きめ細やかな取り組みが必要な課題が山積です。そのためにも区役所はより住民に身近でなくてはなりません。現在大阪市は行政の効率化の視点だけで、「合区」ありきの「総合区」(8区体制)の導入を考えていますが、住民生活に影響を及ぼす「合区」ありきで論議を進めるものではありません。住民への説明責任を果たし、合意形成を進めながら、「住民目線」で取り組んでいくべきものと考えます。そのためにも現在の24行政区を残したまま、財政の支出もほぼ掛かることなく、各区の権限を強化できる総合区案を私たち自民・市民クラブ会派は推し進めています。

# 子どもの教育環境の充実へ

3月9日教育子ども委員会にて質問させていただきました。

3年前に統合された塩草立葉小学校の児童数増加による狭あい問題など、その他子どもの貧困対策や外国から編入してくる児童数の増加対策などみなさんにお伝えしたいと思います。

## 塩草立葉小学校～教室が足りない・建てられない

平成26年4月に統合された両校ですが、早くも大きな問題が出てきました。大阪市内において浪速区は人口増加率が上位3区に入っています。

統合直後で児童数は246人ですが、本年度は約300人で今後、中位推計で5年後には15学級473人以上となる事が明らかになりました。現在でも児童数増加の影響で教室の不足が大きな問題となっています。市教委の答弁では今後増加する児童を受け入れるための教室不足解消のため特別教室を二重に使用したり、校舎増築を計画しているそうです。そのため、狭い運動場が更に狭くなり教育環境の悪化につながるのではとの問いに対し、近隣の旧難波特別支援学校のグラウンドを第2グラウンドとして、活用を検討しているとの事です。しかしながら、この様な児童数増加に関しては、市教委は分かっていたはずなのに、なぜ統合に踏み切ったのかは疑問です。地域に対しても説明不足で不安を抱える保護者の増加も懸念されます。もと立葉小学校をさらなる増に備えて、当分の間売却しないよう訴えました。



3月9日教育・子ども委員会にて質問を行う森山議員



## 子どもの貧困対策

大阪市では子どもの生活に関する実態を調査し、昨年9月に速報値を公表しました。今後、子どもの生活習慣や学習環境と世帯状況との関係性など、詳細な分析を行うことにより、速報値では見えていない課題が浮き彫りになり、さらに効果的な施策に取り組めるのではないかと期待しています。しかしながら、実態調査の回収率が77.6%であることを踏まえ、回答をしていない22.4%の声を掴めていない点について、このなかに、貧困などの様々な課題を抱えている可能性が高いという観点からよりきめ細やかな対応が必要だと訴えました。その結果、不回答のところには補完調査として、各区が追加調査を行ない本年度4月13日に分析結果の公表につながりました。

この事を踏まえH29年度に始まる「浪速まなび支援事業」の対象となる世帯に、子どもたちが夢を語り、かなえる可能性の一助としての事業となるよう見守ってまいりたいと思います。また、各地域でも「子ども食堂」や「子どもの居場所」についての取組みも増えてきています。しっかりと地域ニーズに合った取組みが出来るように市政に反映させてまいります。



塩草立葉小学校グラウンド

狭いグラウンドに校舎をいやしたら、もっと狭いグラウンドになって大丈夫なの？

そうね。違うグラウンドも使っていて感じらしいけど、休み時間は往復の移動時間を考えると無理よね。

## 外国から編入してくる児童生徒について

現在、浪速区では全住民に対する外国人住民の割合が10%を超え、それに伴い区内の学校には中国をはじめとする外国から編入してくる児童生徒が急増しています。現在、市教委の施策では「帰国した子どものセンター校」を市内に8校配置しているが、開設から20年以上が経過しており、当時の状況とは大きく変化しており、現在の外国人集住地域の変化に対応しきれていないのが現状であり、日本語指導が必要な児童生徒の増加に対する対策を強く求めました。ちなみに浪速区で日本語指導の必要な児童生徒数は昨年5月で54人でした。前年度比の1.4倍と急激な増加となっています。



子育てして思うこと。  
教育は子どもが主役です。子どもたちが国際色豊かな浪速区で学力や生活力、そして人権感覚を身につける事が出来る様に今まで以上に教育に関心をもちましょう。

子育てまっさか中